

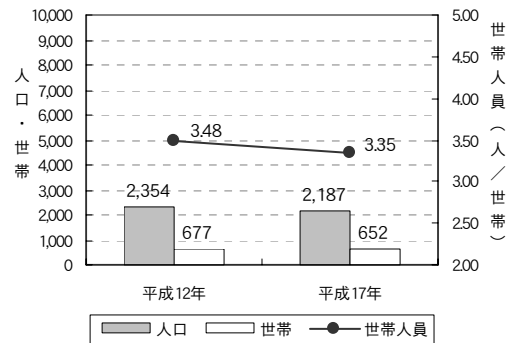
5 - 10 須賀川地域

(1) 地域の概要

《位置図》



《人口・世帯数の動向》



1) 人口・世帯数 (国勢調査より)

市全体の2.8%の市民が居住し、世帯数は全体の2.4%となっています。人口・世帯数ともに減少傾向を示しています。

また、世帯人員も少子高齢化の影響から減少しています。

2) 土地利用

都市計画区域外の地域で、八溝山系の山々に囲まれた森林地域です。山間の幹線道路沿道に集落が形成されており、林業とお茶栽培が行われています。

地域北部と中央部、並びに地域幹線道路の沿道地域を中心として、八溝県立自然公園に指定されており、日本の原風景とも言える山里空間が広がっています。

3) 交通

地域の南北に県道南方須佐木線、東西に主要地方道大子黒羽線と県道須賀川大子線、蛭畑須佐木線が整備されており、黒羽地域や大田原地区へのアクセス道となる国道461号に接続しています。

木佐美南方トンネルが開通し、大田原地区、那須塩原市、那須町、福島県方面の交通アクセスが大幅に改善されました。

4) 拠点施設等

須賀川出張所、須賀川地区公民館、川上健康増進センター、小学校などの教育・生活拠点が整備されています。

また、山々に囲まれた豊かな自然環境とともに、新緑と紅葉が美しい雲巖寺が観光拠点となっています。旧須賀川小学校は、小学生交流の場としての利用のほか、県のフィルムコミッションに登録し、撮影の場としても利用されています。

5) 日常の生活圏 (平成 19 年度市民意識調査より)

アンケート結果では、日々の買い物によく行く場所が「市中心部の大型店」38.3%、「市中心部の小売店」10.6%となっています。

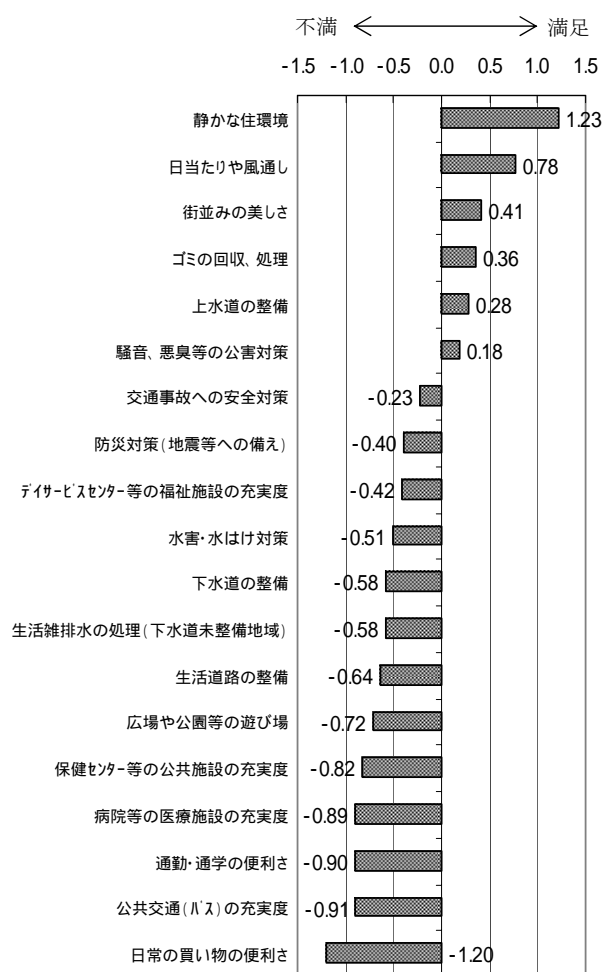
6割近くの住民が地域から離れた大田原地域を生活拠点の場としていますが、「それ以外の近隣市町村」と回答した住民も12.8%いることから、隣接する茨城県大子町との関係性が強いことがわかります。

6) 各施策の満足度・重要度 (平成 19 年度市民意識調査より)

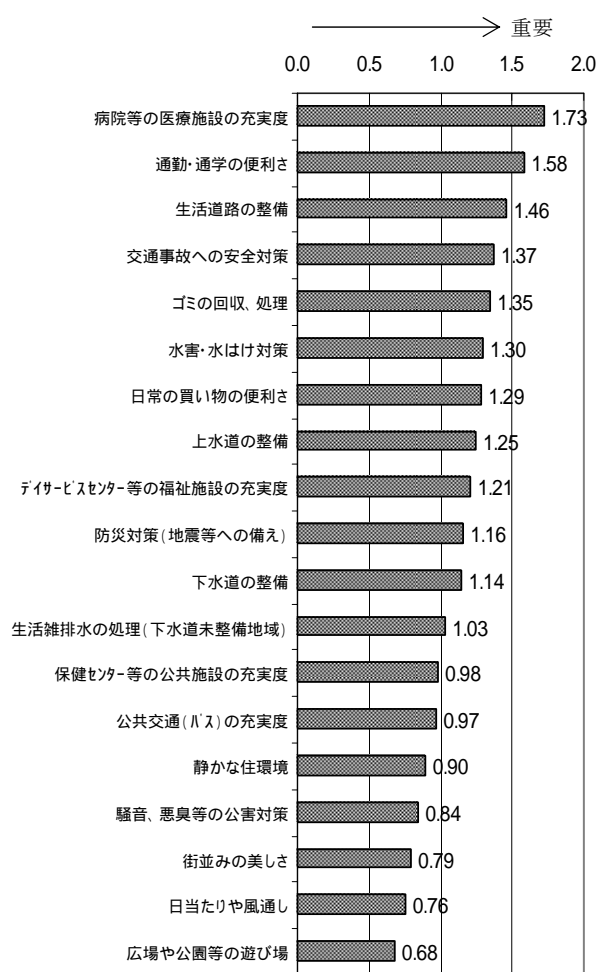
須賀川地域では「静かな住環境」の満足度が最も高く、次いで「日当たりや風通し」「街並みの美しさ」となっています。反対に最も満足度が低い項目は「日常の買い物の便利さ」で、次いで「公共交通(バス)の充実度」「通勤・通学の便利さ」となっていることから、生活・交通便利性に関連する項目の満足度が低いことがわかります。

重要度が最も高い項目は、満足度の低い「病院等の医療施設の充実度」で、次いで「通勤・通学の便利さ」「生活道路の整備」となっています。

満足度



重要度



7) 市民意向のポイント (市民意識調査の結果及び地域別説明会の意見を集約)

- 自然環境の保全・管理
- 広域幹線道路の整備・拡充
- 公共交通の充実
- 若い人が住むことができる生活環境の整備
- インターネットや地上デジタル放送の環境整備
- 耕作放棄地の発生防止対策
- 都市住民との交流
- 増加傾向にある空家の発生防止対策の充実
- 高齢者が住みやすいまちづくり



《須賀川地域の美しい山里景観》

(2) まちづくりの目標

《将来像》

豊かな山並みと歴史が息づく山里 須賀川地域

- ◎ 山林と調和した快適な集落環境の形成
- ◎ 自然・歴史資源の保全と観光拠点の整備

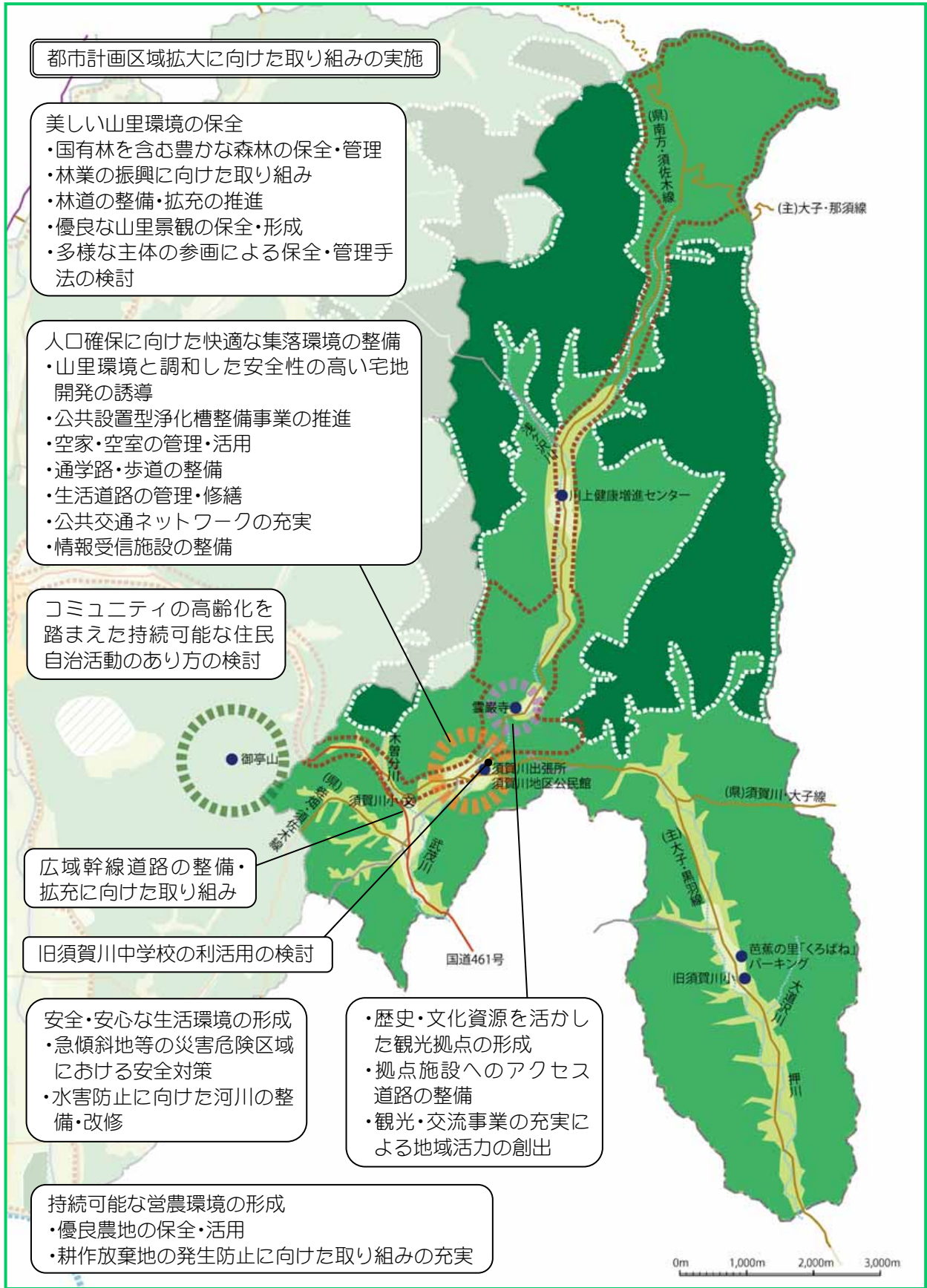
(3) まちづくりの方針

- ◇ 都市計画区域の拡大に向けた取り組みの推進 (県への働きかけ、住民への説明・周知等)
- ◇ 良好な集落環境及び自然環境の保全に向けた特定用途制限地域の指定の検討
- ◇ 公共設置型浄化槽整備事業の推進
- ◇ 既存集落内での人口確保に向けた生活基盤の整備による快適な集落環境の形成
- ◇ 広域幹線道路及び林道の整備・拡充に向けた取り組みの推進
- ◇ 雲巖寺や八溝県立自然公園などの観光資源を活かしたまちづくりの推進
- ◇ 多様な主体の参画・連携による豊かな山里環境の保全・管理
- ◇ 多様な主体の参画・連携による林業振興の推進
- ◇ 優良農地の保全・活用及び耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みの推進
- ◇ 歩道整備による安全・安心な歩行空間の確保
- ◇ 山林・河川等の適切な管理による安全・安心な生活環境の形成
- ◇ バス・タクシー等の既存交通の連携による公共交通ネットワークの充実
- ◇ 空家・空室の発生防止に向けた取り組みの推進
- ◇ インターネット、地上デジタル放送への対応に向けた取り組みの推進
- ◇ 住民の高齢化に対応した地域自治活動のあり方の検討
- ◇ 医療機能の誘致に向けた取り組みの推進
- ◇ 中学校の統合に伴う旧須賀川中学校の利活用に向けた検討



《須賀川地域の中心集落》

《須賀川地域 構想図》



都市計画区域拡大に向けた取り組みの実施

- 美しい山里環境の保全
- ・国有林を含む豊かな森林の保全・管理
 - ・林業の振興に向けた取り組み
 - ・林道の整備・拡充の推進
 - ・優良な山里景観の保全・形成
 - ・多様な主体の参画による保全・管理手法の検討

- 人口確保に向けた快適な集落環境の整備
- ・山里環境と調和した安全性の高い宅地開発の誘導
 - ・公共設置型浄化槽整備事業の推進
 - ・空家・空室の管理・活用
 - ・通学路・歩道の整備
 - ・生活道路の管理・修繕
 - ・公共交通ネットワークの充実
 - ・情報受信施設の整備

コミュニティの高齢化を踏まえた持続可能な住民自治活動のあり方の検討

広域幹線道路の整備・拡充に向けた取り組み

旧須賀川中学校の利活用の検討

- 安全・安心な生活環境の形成
- ・急傾斜地等の災害危険区域における安全対策
 - ・水害防止に向けた河川の整備・改修

- ・歴史・文化資源を活かした観光拠点の形成
- ・拠点施設へのアクセス道路の整備
- ・観光・交流事業の充実による地域活力の創出

- 持続可能な営農環境の形成
- ・優良農地の保全・活用
 - ・耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みの充実

0m 1,000m 2,000m 3,000m

商業業務系市街地ゾーン	農業振興ゾーン	都市拠点	3環状8放射道路
複合系市街地ゾーン	緑地保全ゾーン	地域拠点	広域幹線道路
住居系市街地ゾーン	自然環境保全ゾーン	歴史と文化の拠点	都市幹線道路
工業ゾーン	自然環境保全地域等	水と緑の拠点	地域幹線道路
新市街地誘導ゾーン	ゴルフ場	その他の拠点	八溝県立自然公園
集落ゾーン		河川	国有林